

○鹿ノ子ダム（置戸町）

施設のみどころ



- ・ 普段は入れない堤体内部の監査廊（点検用通路）や小水力発電設備を見学できます。

（施設概要）

- ・ 常呂川の最上流部にある高さ55.5m、長さ222mの重力式コンクリートダムで、昭和58年に完成しました。
- ・ 役割は、下流の洪水被害の軽減のほか、河川維持流量、水道用水、農業用水の補給です。
- ・ 小水力発電設備があり、ダムの管理に必要な電気をまかっています。

（見学箇所）

- ・ 右岸広場（概要説明）、堤頂からの眺望、ダム堤体内部、小水力発電機室、ダム下

（見学時間）

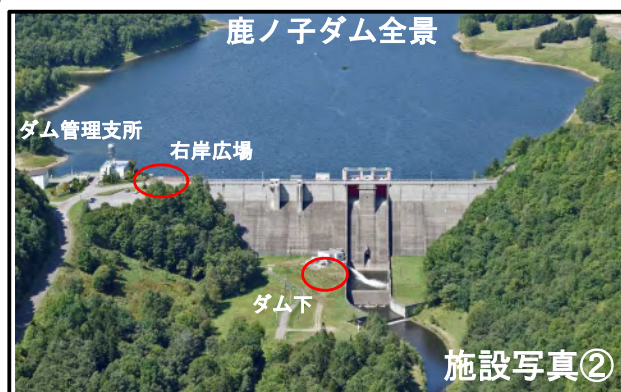
- ・ 60分程度

（見学目安人数）

- ・ 1枠あたり20人
最大30人

（施設までのアクセス）

- ・ 北見駅から車で約1時間



○鹿ノ子ダム（置戸町）

【駐車場・その他施設】

- ・ 駐車場：あり（ダム管理支所横で降車し、帰りの乗車はダム下になります）
- ・ トイレ：あり（ダム管理支所内）
- ・ エレベーター：あり（6人乗り）
- ・ 堤体内部の見学は一部エレベーターを使用しますが、30段の階段の上り下りがあります。
- ・ 堤頂は道道（両側に歩道あり）
- ・ 現地には売店や自動販売機はありません。最寄りの施設は『おけと勝山温泉ゆうゆう』となります。

【観光情報ほか】

- ・ 置戸市街地の「森林工芸館」では、地域ブランドの木工品「オケクラフト」のお椀や皿などの製品を展示販売しており、製作の様子も見るができます。
- ・ 置戸の温泉施設「おけと勝山温泉ゆうゆう」では、鹿ノ子ダムのダムカードを提示することで入浴ポイントの一つ多く貰えるサービスを行っています。
- ・ 近くの温根湯温泉には、世界初と日本初の展示が楽しめる、淡水魚水族館として有名な「北の大地の水族館（山の水族館）」があり、巨大なイトウや珍しい淡水魚を見ることができます。

【注意事項】

- ・ 堤体内部の見学では長い階段や段差がありますので、そのような場所を歩行可能な方のみ参加可能です。
- ・ 堤体内部の監査廊の気温は夏でも10℃前後のため、必要な方は上着をご用意下さい。
- ・ 監査廊の一部には水たまりがありますので、ぬれてもかまわない靴を履いて来て下さい。

